

政策 121 すべてのひとが相互に支え合い安心してくらす

※ () は昨年の評価結果を表しています。

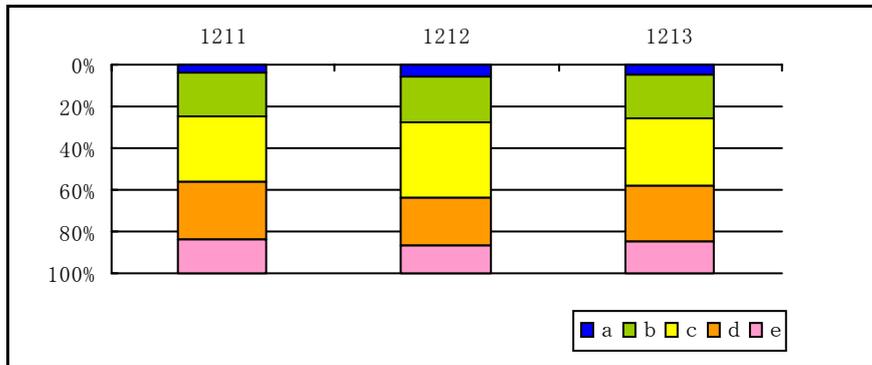
方向 だれもが住み慣れた地域社会のなかで、そのひとらしい幸せな日常生活が健やかに送れるよう、保健・医療・福祉などくらしの基盤となるサービスや支援ネットワークが充実しているまちの実現をめざす。

評価 B (c) 客観指標については、全6項目のうちボランティア登録者数などの4項目でa評価であり、昨年度を上回り大変良い状況である。
 市民生活実感については、地域社会における相互支援に関してd評価であるが、福祉サービスに関する2項目ではc評価であり、全体としてはどちらも言えない状況である。
 客観指標評価及び市民生活実感評価を総合的に勘案し、この政策の目的は、昨年度を上回りかなり達成されていると評価する。

○政策の評価に用いる客観指標の最新値と評価 a (b)

1211	ボランティア相談件数(件)	3943	a (b)
1211	ボランティア登録者数(人)	47778	a (b)
1212	介護保険施設の利用者数(人)	9704	c (c)
1212	介護保険における居宅介護支援(介護予防支援)利用者数(人)	33031	c (c)
1213	精神障害者居宅介護等事業の延べ利用時間数	32267	a (a)
1213	居宅介護(支援費)の延べ利用時間数	1000235	a (a)

○市民生活実感評価 C (c)



※ 市民生活実感調査
 答a: そう思う
 答b: どちらかというと思う
 答c: どちらとも言えない
 答d: どちらかというと思わない
 答e: そう思わない

- 1211 万が一のことがあっても地域で支えあう仕組みがあるので、安心である。 **d (d)**
- 1212 高齢者とその家族を支えるサービスが充実している。 **c (c)**
- 1213 障害のあるひとやその家族を支えるサービスが充実している。 **c (c)**

<参考>この政策を実現するための施策とその総合評価

施策名	住み慣れた地域のなかで支え合い安心してくらすしくみづくり	評価:
1211 概要	地域社会での相互支援の仕組みを再構築するとともに、福祉ボランティアの活動を支援し、地域社会全体で支援の必要なひとの生活を支える社会を構築する。	C (C)
施策名	高齢者とその家族の生活を支えるサービスの充実	評価:
1212 概要	高齢者とその家族が安心して生活できるよう、多様なサービスを提供する。	B (B)
施策名	障害のあるひととその家族を支えるサービスの充実	評価:
1213 概要	障害のあるひととその家族が安心して生活できるよう、多様なサービスを提供する。	B (B)